明治大学 2019 年度 【春期】
国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

下記のとおり，報告いたします。

留学先での学習(実習)内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250～300 字程度)

私は今回 1 か月の短期留学に参加するにあたって、出発前に自分なりに準備をして臨みました。具体的には、滞在先で使えそうな英語の表現のピックアップや今まで勉強してきた TOEIC の単語の復習を行いました。
いざ実際に現地へ行き、ESL の授業に参加してみると、自分が思っていたよりも英語でコミュニケーションが取れているということに気付きました。ボギャブラリが足りないと感じたことはありましたが、それでも工夫して表現すれば伝わったので、英語で話す上での抵抗は取り払うことが出来たと思います。また会話で自分が事前に調べてきた単語、表現を言って伝わった時はとても嬉しく、もっと英語を勉強して話したいというモチベーションの向上にもつながりました。

課外活動等,授業以外の時間にどのような経験を得ることができたか記載してください。(250～300 字程度)

一か月間の研修で最も印象に残ったことは、私がユーコン・カレッジを選んだ理由の一つでもある、オーロラを観ることが出来た点です。日本にいたら見ることはないですし、人生でオーロラを観る機会は何回もないと思うので、ぜひオーロラを観てそれを写真に収めたいと思っていました。当初予定に組み込まれていたオーロラツアーでは機会に恵まれなかったものの、3 週目の金曜日の夜にホストファミリーの家のすぐ近くで張っていた際に見ることが出来ました。とても幻想的で、壮大な光景でした。とても貴重な体験ができたと思います。この体験を一度きりのものにせずに、またカナダに戻ってオーロラを撮りに行きたいと思うようにもなりました。

滞在先・現地での生活に関する経験・感想について記載してください。(250～300 字程度)

今回は私にとって久しぶりの英語圏での滞在で、なおかつ一か月間のホームステイとなるとはじめての体験だったので、最初は食事が口に合うか、ホストファミリーとコミュニケーションが取れるか等、たくさんの不安要素がありました。しかしいざ行ってみると、ホスト先の両親はとても親切で、私にとても過ごしやすい環境を提供してくれました。食事に困ることは一度もなく、毎日いろいろな国の料理を体験させてもらえました。またファミリーや現地で話した人々は私の英語を揃って称賛してくれて、そのおかげで私は自信をもって英語を話すことが出来ました。英語力を向上させるにあたって、最高の環境に身を置けたのではないかと思います。

今後の展望・目標について,留学前と後での変化も含め記載してください。（250～300 字程度）

私は将来的に世界を舞台にいろいろな活動をしたいと考えているので、そのうえで必要不可欠な英語力の向上にはこれからも絶えずコミットしていこうと考えています。今回の留学で現地の人々とかかわって、英語でコミュニケーションをとることの楽しさを感じ、何のために英語を勉強するのかということを再確認できました。それらの貴重な経験を、今後の英語学習に生かしていきたいです。また滞在先のカナダでは、フランス語やホストマザーの国スリランカなど、多国籍国ならではの様々な文化に触れることが出来、世界中のいろいろな国についてもっと知りたいと思うようにもなりました。

写真貼付（1 枚）

ホストファミリーの家の近所から撮影したオーロラです。
日本から一眼レフと三脚をレンタルで持っていき、オーロラを写真に収めることが出来ました。

明治大学 2019 年度 【春期】
国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

下記のとおり，報告いたします。

留学先での学習(実習)内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250～300 字程度)

私は今回の研修を経て、渡航前に比べて語学力がおおいに身についたと感じます。日本で私たちは英文の構造やフレーズなどを学ぶことができ、主に読解力は身につきますが、リスニングやスピーキングに関してはあまり学ぶ機会がなく対話力が身につきません。しかし私を留学を通して、その２つの能力についてたくさん学ぶことができました。まず授業はネイティブの先生によって行われました。私が間違った発音やアクセントで話したとき、先生はいつも指摘してくれました。またホームステイをしていたので必然的に英語で話さなければならない環境でした。最初は自分の言いたいことをうまくホストファミリーに伝えることだ困難でしたが留学が終わるころにはファミリーと会話が途切れずに話せるようになりました。

課外活動等,授業以外の時間にどのような経験を得ることができたか記載してください。(250～300 字程度)

今回のプログラムではたくさんの課外活動がありました。私たちは多くのユーコンならではの活動をしました。プログラムの“Dog Mushing”では雪山を６匹の犬たちと一緒に滑る体験でした。ユーコンの雪景色も相まってとても爽快な気分で山を下ることができました。ほかにも私たちは野生動物保護区を見学しました。そこでは多くのユーコンの野生動物の姿を見ることができました。どの動物も厳しい冬を乗り越えるための厚い毛皮でおおわれていました。また、私はユーコンでオーロラを見ることができました。滞在中なかなかみることができませんでしたが１回だけオーロラを見る機会がありました。空に広がったオーロラはとても幻想的で心が動かされました。

滞在先・現地での生活に関する経験・感想について記載してください。(250～300 字程度)

私が現地での生活で衝撃を受けたことは、私たち日本人と現地の人の生活様式、価値観の違いでした。例えば私たちは１日おきに衣類やバスタオルなどを洗濯しますがユーコンでは洗濯は大抵１週間に１度でした。現地の人は１日おきに洗濯をするのは効率が悪いという考え方を持っていました。また私は大学やバスの中にいるときによく現地の初対面の人に話しかけられました。私たちの多くは見知らぬ人とコミュニケーションをとる文化はあまり根付いていないのでとても新鮮な経験をすることができました。海外での生活を通して食生活や習慣など文化、価値観の違いを身近に感じることができました。

今後の展望・目標について,留学前と後での変化も含め記載してください。（250～300 字程度）

私は今回の留学で自分のコミュニケーション能力を向上することができたと思います。私は人見知りをする性格でしたが留学をきっかけに改善することができたと思います。初めはホストファミリーと上手くコミュニケーションをとれるか不安でしたが温かく私を迎えてくれたので次第に打ち解けることができ、自分からも積極的に会話をするようになりました。この経験をいかして来年に行われる東京オリンピックでも日本に来た外国人の手助けを英語を使ってできればいいなと思いました。また私が勤めている飲食店のアルバイトでも外国人のお客さんに英語で接客しようと感じました。この経験を無駄にしないために今後も英語の勉強を怠らず自分の将来の夢に活かせるようにしたいです。

写真貼付（1 枚）

オーロラ(2/29 撮影)
撮影場所： 6 Yew Place(ホームステイ先)

【注意事項】提出された留学報告書は，次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に，原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします（学生番号，性別，生年月日，連絡先は公開しません）。
【写真提供の注意事項】※ご提供いただいた写真は，大学の広報誌やウェブサイト，募集説明会の際利用するパワーポイント等，様々な媒体で広く広報に活用させていただく可能性があります。複数の方が写っている写真をご提供いただく場合には，写真撮影の際にその写真に写る方に本学への写真提供について許可を得ていただいたものをご提供ください。

明治大学 2019 年度 【春期】
国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

下記のとおり，報告いたします。

研修先名	ユーコンカレッジ	研修期間	2020 年２月８日～３月８日

留学先での学習(実習)内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250～300 字程度)

現地の大学に通い、英会話を中心に学びました。初めは頭で文章を考えながら話していましたが、次第に英語に慣れていき、最終的には考えることなく、すぐに英語が口から出るようになりました。ネイティブの人がよく使う日常会話を学んだので、学校で学んだことをホストファミリーとの会話で実践することができ、効率よく英語を学ぶことができました。英会話の授業以外でも、その国ならではの様々な文化体験が用意されていました。ツアーガイドの方からその地にまつわる話を聞いたり、カナダの文化を実際に見て触れて感じることができました。英語を学ぶと同時に文化も学ぶことができ、とても貴重な体験になりました。

課外活動等,授業以外の時間にどのような経験を得ることができたか記載してください。(250～300 字程度)

課外活動では、犬ぞり体験やオーロラツアー、クロスカントリースキー、野生生物保護区の見学ツアーなどを行いました。オーロラツアーでは、あいにくの曇りで見ることはできませんでしたが、どれもその地ならではの経験で、カナダの自然や歴史を直に感じることができました。ホームステイ先でも、その国の人々の生活や食事を経験することができて、とても有意義な時間を過ごしました。ホストファミリーが、狩りで捕まえたウサギやムースなどを使った料理を出してくださり、とても美味しかったのが印象に残っています。私もホストファミリーに日本食を作ったのですが、とても喜んでくれました。

滞在先・現地での生活に関する経験・感想について記載してください。(250～300 字程度)

カナダで過ごした一カ月は私の人生でとても重要な一か月間になりました。特に印象的なのはホストファミリーと過ごした日々です。私のために時間を作っていろいろなところに連れて行ってくれたり、カナダに関する話を教えてくれたりして、とても楽しい日々を過ごすことができました。日本とは違う家族の形も見ることができ、ホームステイをしてとても良かったと感じています。また、滞在先の町ではエコの意識が強く、様々な場面で環境保護の意識が見られました。留学前は、日本はとても発展した国だと思っていましたが、まだまだほかの国に見習うべきことはたくさんあることを学びました。

今後の展望・目標について,留学前と後での変化も含め記載してください。（250～300 字程度）

今回、留学を経験して、英語を勉強したいという気持ちがより強くなりました。海外留学は今回が初めてだったので、自分から話すことができなかったり、なかなか言いたいことが英語で伝わらないことが多くありました。今回の経験を生かして、次はもっと会話を楽しめるように勉強したいと思います。ただ、今回海外で一カ月生活し、日本について聞かれる機会がとても多かったので、日本についても勉強しようと考えています。将来は海外で働きたいと考えているので、学生のうちにいろいろな国に行って、文化に触れて、視野を広げていきたいです。

写真貼付（1 枚）

※研修先で撮影した写真を *1* 枚（1MB 以内）ご提供ください。撮影場所・写真の説明も記載してください。

家の近くで撮影したオーロラです。夜中の 11 時くらいに見ることができました。とても綺麗でした。

【注意事項】提出された留学報告書は，次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に，原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします（学生番号，性別，生年月日，連絡先は公開しません）。
【写真提供の注意事項】※ご提供いただいた写真は，大学の広報誌やウェブサイト，募集説明会の際利用するパワーポイント等，様々な媒体で広く広報に活用させていただく可能性があります。複数の方が写っている写真をご提供いただく場合には，写真撮影の際にその写真に写る方に本学への写真提供について許可を得ていただいたものをご提供ください。

明治大学 2019 年度 【春期】
国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

下記のとおり，報告いたします。

留学先での学習(実習)内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250～300 字程度)

ESL のクラスは明治の学生１１人で、午前中 3 時間、午後 2 時間でそれぞれ 10～15 分の休憩をはさみます。4 週間の研修でしたが、2 週目からは週 2 時間、現地の学生と同じように授業を受ける聴講クラスがあり、今年は History class と Science Environment class のいずれかを選択して授業を受けました。ESL はスピーキングが中心の授業です。先生は 2 人でしたが、どちらの先生も親切で丁寧に指導してくれました。自分たちにわかりやすいように言葉を区切って話してくれるので難なくコミュニケーションを取ることができました。間違った文法や、ネイティブが使わない表現を自分たちが使ったときはその都度指摘してくれ大変勉強になりました。

課外活動等,授業以外の時間にどのような経験を得ることができたか記載してください。(250～300 字程度)

プログラムの一環として参加したのは、犬ぞり体験、オーロラツアー、クロスカントリースキー、野生動物保護公園ツアーです。特に印象に残っているのは犬ぞり体験です。二人一組になってそりに乗り、6 頭の犬と協力してトレイルを進みます。想像していたよりもハードでしたが、冬のこの時期、ホワイトホースだからこそ体験できたことだと思います。オーロラツアーの日は残念ながら曇りで、オーロラは見ることができませんでした。別の日にホストファミリーの家から見ることができました。他にはホストファミリーにホットスプリング、スノボ、一緒に行った友人と映画を観に行きました。

滞在先・現地での生活に関する経験・感想について記載してください。(250～300 字程度)

家でのことはホストファミリーによって全く違います。幸運なことにほかのホストファミリーの家に数日滞在する機会がありました。それぞれ共通していると感じたのは食事の時間を大切にすることです。日本とは違い、ダイニングにテレビはありません。食事が終わった後もそのまま座って 30 分～1 時間ほど家族との会話を楽しみます。始めの頃はホストファミリー同士の会話がが全く聞き取れず、居心地が悪い思いをしましたが、最後の方になると 7 割くらい聞き取れるようになりました。それでも自分から会話をするのは難しかったです。大切なのは語学力よりもコミュニケーション能力だと何度も感じました。

今後の展望・目標について,留学前と後での変化も含め記載してください。(250～300 字程度)

私は自分のゼミで生産者と消費者の関係について学んでおり、将来もこの方面で働きたいと考えていました。しかし留学に行き、現地の日本人と交流することで、自分の将来についてもっと広い視点で考えたいと思うようになりました。農業のフィールドで仕事がしたいという思いは変わりませんが、日本の食、野菜のすばらしさを海外に伝えるような仕事もしてみたいと今では考えています。これからの大学生生活ではやりたいことを一つに絞らず、時間の許す限りたくさんのことに挑戦していきたいと思います

写真貼付（1 枚）

※研修先で撮影した写真を *1* 枚（1MB 以内）ご提供ください。撮影場所・写真の説明も記載してください。

犬ぞり体験で犬と触れ合っている写真。

場所：Muktuk 写真左：自分

【注意事項】提出された留学報告書は，次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に，原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします（学生番号，性別，生年月日，連絡先は公開しません）。

【写真提供の注意事項】※ご提供いただいた写真は，大学の広報誌やウェブサイト，募集説明会の際利用するパワーポイント等，様々な媒体で広く広報に活用させていただく可能性があります。複数の方が写っている写真をご提供いただく場合には，写真撮影の際にその写真に写る方に本学への写真提供について許可を得ていただいたものをご提供ください。